

AVANT

# アナリスト投資家向けプレゼンテーション資料

---

株式会社アバント

(証券コード3836 東証一部)

2020年 9月

# AVANTグループについて

---

## 100年企業の創造

会社を社会の公器とみなす日本的経営観を尊重し、社会のために存在する組織として発展することが創業以来の企業理念です。



MISSION

### 経営情報の大衆化

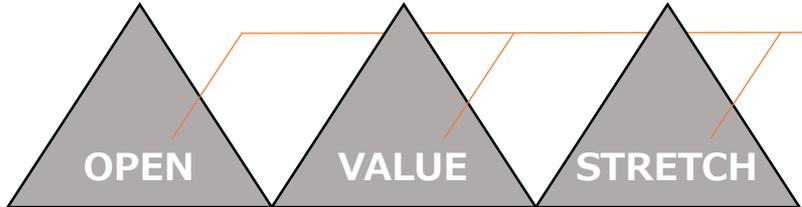
情報技術の発展が個人や社会に大きな変化をもたらした様に、企業経営においても、AVANTグループが様々なビジネスモデルを通じて情報を経営判断に役立つ形に変え、企業と社会の持続発展に貢献することをMISSIONとします。



VISION

### BE GLOBAL

情報の大衆化により、社会の至る処まで国際化は浸透しており、AVANTグループも国際的な視点で活動を展開することが必要です。世界水準のSaaS企業をベンチマークとして進化を目指します。



OPEN

VALUE

STRETCH

### OPEN、VALUE、STRETCH

環境変化を前向きにとらえ、利害関係者との率直かつ誠実な関係を築くこと、常に新たな価値創造に取り組み最高のお客様の満足を追求する姿勢、そして、お客様に対する貢献を健全な挑戦として変化を楽しみ成長を追求する姿勢を大切にします。

## 持株会社

## 事業会社

AVANT

DIVA<sup>®</sup>

株式会社 インターネットディスクロージャー  
Internet Disclosure Co.,Ltd.

連結会計関連事業

ZEAL<sup>®</sup>  
BI EVANGELISTS

ビジネス・インテリジェンス事業

FIERTE

アウトソーシング事業

### 【グループの企業価値の最大化】

- グループガバナンスの構築
- グループシナジーを創出する仕組みづくり
- 金融市場とのコミュニケーション
- 既存事業の成長での計画未達部分に対する施策の実施
  - ✓ 外部成長の取り込み
  - ✓ 新規事業への投資

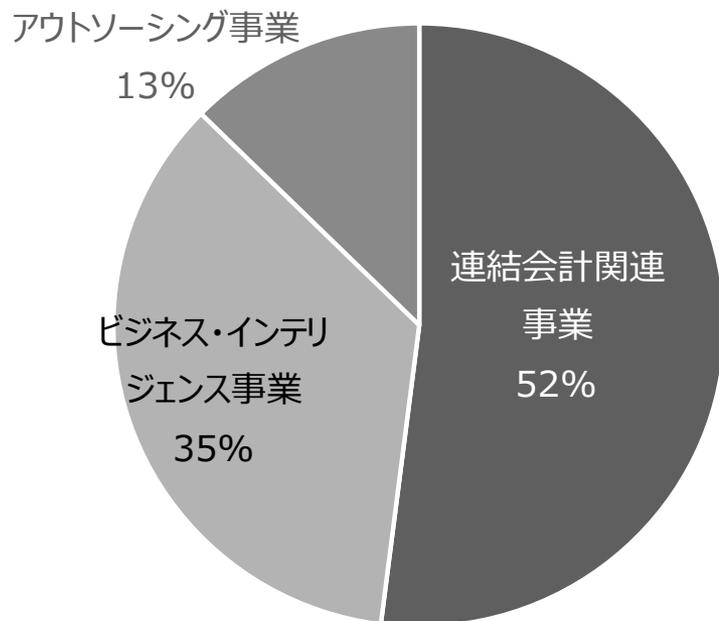
### 【各事業の事業価値の最大化】

- 各事業のお客様への貢献価値の最大化に集中
- 各事業の事業計画の達成
- 各事業で設定した目標達成のためのビジネスモデル転換
- 各事業で蓄積したナレッジを元にした新商品の開発

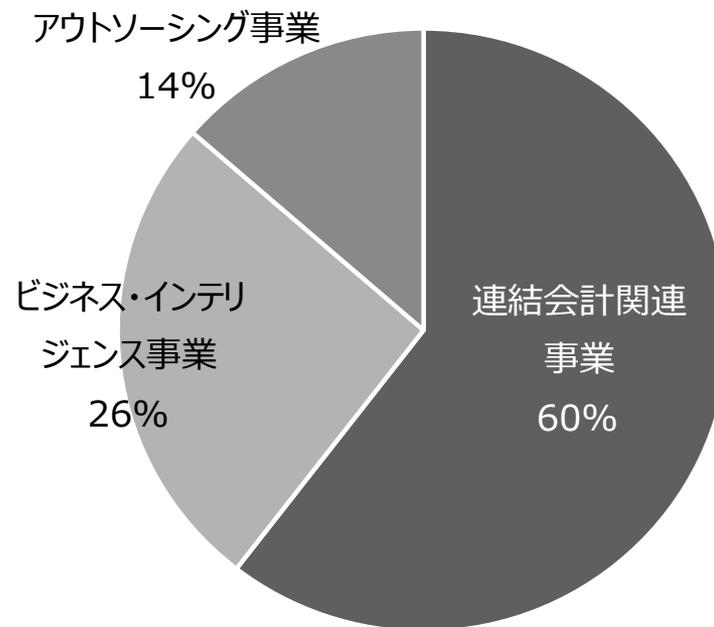
# セグメント情報（20年6月期）

AVANT

売上高156.9億円



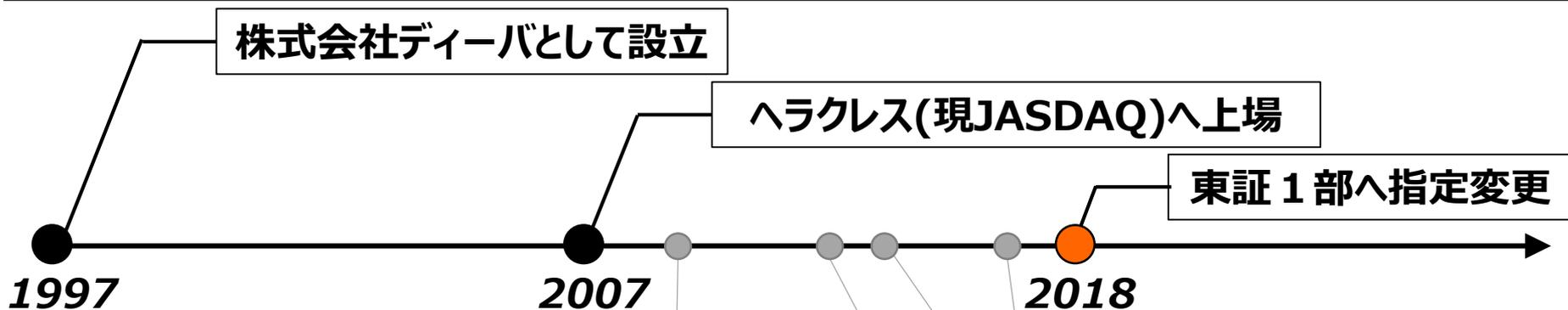
営業利益22.7億円



セグメント	前年比
連結会計関連事業	+5.6%
ビジネスインテリジェンス事業	+15.6%
アウトソーシング事業	+26.5%
連結	+11.5%

セグメント	営業利益率
連結会計関連事業	19.1%
ビジネス・インテリジェンス事業	12.0%
アウトソーシング事業	17.7%
連結	14.5%

## AVANT Groupは次の10年へ

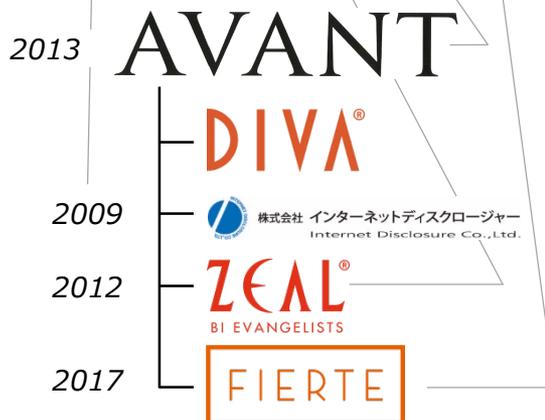


### 連結決算義務化、J-SOX



連結決算ソフトウェア  
メーカーとして成長。  
国内シェアNo.1を獲得

### グループ経営の拡大



持株会社制へシフトし、  
自らもグループ経営を  
実践しながら成長

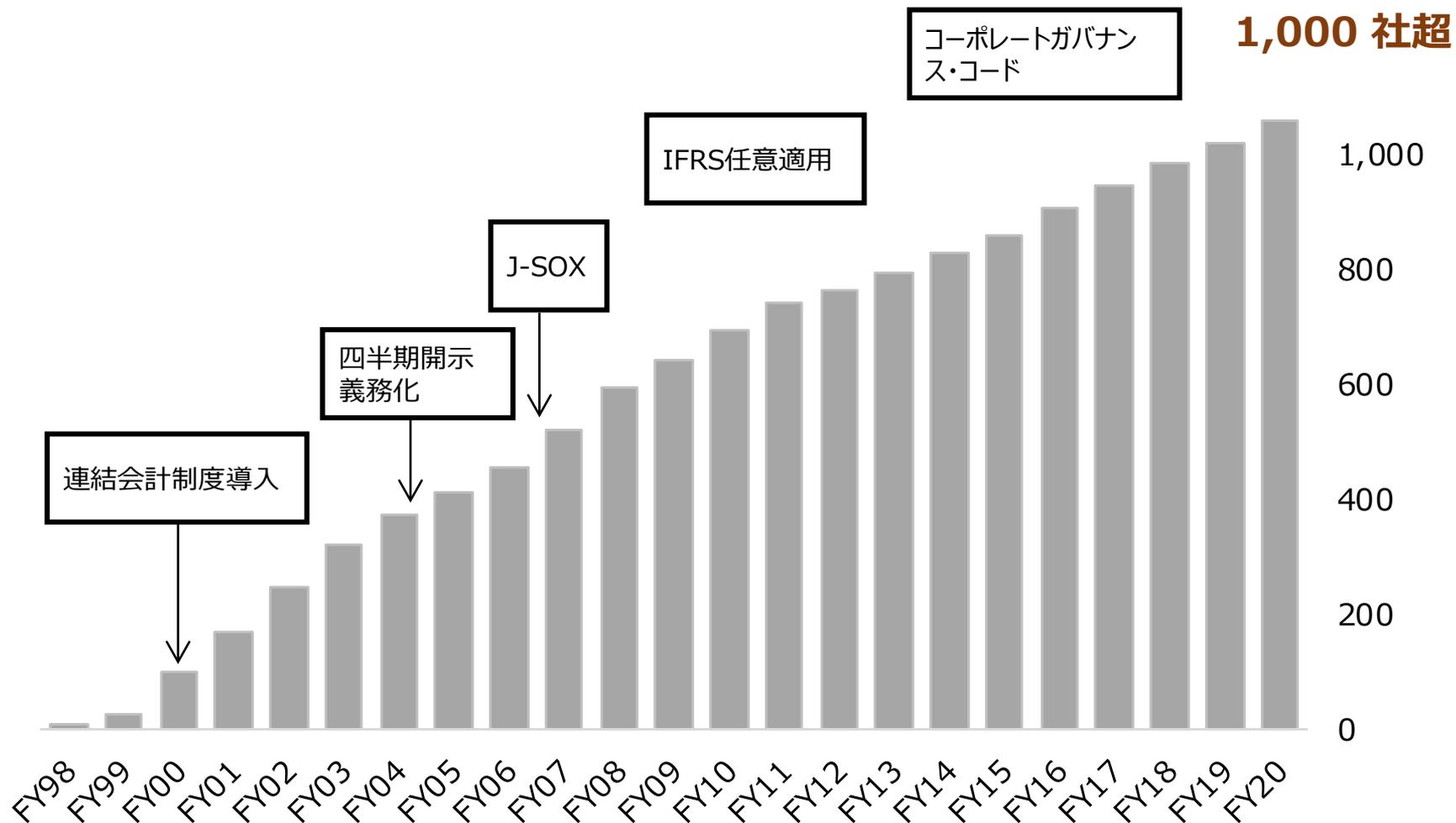
### CFOの役割の進化・変革

**AVANT Group**  
お客様のCIFO組織の  
改革・課題解決を支援する  
**CIFO ACCELERATOR**

グループ一丸となり、  
新たなる価値創造を  
実現するフェーズへ

# 連結会計システム導入企業の推移

ディスクロージャー規制の強化に従い導入顧客数は増加してきた



企業価値向上に向けグループ経営の在り方が問われている...

## 安倍内閣

### アベノミクス

#### 日本再興戦略（2014～2016）

「資本コストを意識してコーポレートガバナンスを強化し、持続的な企業価値向上につなげることが重要」

#### 未来投資戦略（2017、2018）

##### Society 5.0 (2018)

##### コーポレートガバナンス改革

「企業グループ全体の価値向上を図る観点から、グループ経営において“守り”と“攻め”両面でガバナンスを働かせ、事業ポートフォリオをどのように最適化するか」

## 日本取引所 / 金融庁

### コーポレートガバナンス・コード（2015）

- ✓ 株式持ち合いに対する説明義務
- ✓ 2名以上の社外取締役を義務化

### 改訂コーポレートガバナンス・コード（2018）

- ✓ CEOの選解任と後継者計画、報酬制度の説明を求める
- ✓ 攻めのガバナンス
- ✓ 資本コストを把握し、資本コストに見合うリターンを上げるため事業ポートフォリオの見直しを求める

## 経済産業省

### コーポレート・ガバナンス・システム研究会（2016）

コーポレート・ガバナンス・システムに関する実務指針（2017）

価値協創のための統合的開示・対話ガイダンス（2017）

### グループ・ガバナンス・システムに関する実務指針（2019）

- ✓ 事業ポートフォリオマネジメントの在り方
- ✓ 内部統制システムの在り方
- ✓ グループ内部監査システムの在り方

### Dx推進ガイドライン（2018）

# DIVA®

- 販売実績は1,000社以上※1
- 2020年度連結会計ソフトウェア市場シェアは45.3%※2
- 制度会計から予算・管理会計等、企業のガバナンス強化をサポート



トヨタ自動車株式会社  
日本電信電話株式会社  
中外製薬株式会社  
株式会社NTTドコモ  
KDDI株式会社  
ダイキン工業株式会社  
花王株式会社  
アステラス製薬株式会社  
株式会社デンソー  
日立グループ  
株式会社セブン&アイ・ホールディングス  
日本ペイントホールディングス株式会社  
株式会社ブリヂストン  
株式会社ニトリホールディングス  
富士フイルムホールディングス株式会社 など

※1 2020年6月末時

※2 富士キメラ総研「ソフトウェアビジネス新市場2020年版」連結会計ソフト<パッケージ>市場占有率推移

DIVA Systemは制度会計対応のみならず  
ガバナンス強化に貢献する製品群を揃え  
グループガバナンスを支援





- 91年創業、12年買収。25年以上ビジネス・インテリジェンスに特化
- 900社を超えるBI/DWHシステム構築実績
- マイクロソフト、オラクル、IBM、SAPを始め主要ベンダーと緊密に連携

## 最近の導入事例

ヤマハ発動機 ～データ分析基盤構築・運用	花王グループ カスタマーマーケティング株式会社 ～マーケティング分析環境の構築	クラシエ製薬株式会社 ～マーケティング分析環境の構築	株式会社ビームスホールディングス ～予算管理システム導入支援
株式会社ライフコーポレーション ～予算管理システム導入支援	株式会社ケーユーホールディングス ～予算管理システム導入支援	株式会社日本アクセス ～ビッグデータ基盤・ビジネス分析ソリューション構築	株式会社ココカラファイン ～予算管理システム導入支援
株式会社スシローグローバル ホールディングス ～営業支援システム構築	株式会社不動産SHOPナカジツ ～情報分析基盤の構築	株式会社ゴルフダイジェスト・ オンライン ～情報統合基盤の刷新	株式会社フィッツコーポレーション ～マーケティング分析環境の構築

## 主要製品

ABEJA Platform / Actian Analytics Platform / Adaptive Suite / Amazon Web Service / ASTERIA WARP / BOARD / BusinessSPECTRE / CCH TAGETIK / DataSpider Servista / Denodo / Dr.Sum / Excellent / IBM Cognos Analytics / IBM Planning Analytics / IBM InforSphere Data Strage / IBM SPSS / IJ GIO / Incorta Enterprise Analytics / Infor d/EPM / Informatica PowerCenter / intra-mart Accel Platform / Microsoft Azure / Microsoft Power BI / Microsoft SharePoint Server / Microsoft AQL Server / MicroStrategy / MotionBoard / Mjgen / Oracle Hyperion Planning / Oracle Business Intelligence / Oracle Data Integrator / Oracle Essbase / Oracle Exadata / Oracle Exalytics / Oracle EPM Cloud-Planning (PBCS) / Pentaho / Pivotal Greenplum / QlikView / Sagent Data Flow / SAP Business Planning and Consolidation / SAP BusinessObjects / SAP HANA / SAP IQ / SAS Enterprise Miner / SAS Visual Analytics / SkyLink / Syncsort DMExpress / Tableau / Talend / Teradata Data Warehouse Appliance / WebQuery / WebReport 2.0 Smart / Yellowfin / 軽技Web / Zoomdata

FIERTE

- 2012年DIVAのアウトソーシング事業からスタート、17年8月分社化
- 連結決算処理から開示書類作成等、100社を超える顧客の業務アウトソーシングや、グループ企業のグローバル資金管理をサポート

## 決算業務アウトソーシング

味の素株式会社	APAMAN株式会社	株式会社市進ホールディングス	株式会社IDOM	株式会社IMAGICA GROUP	株式会社エフエム東京
株式会社MCアビエーション・パートナーズ	株式会社クボタ	コスモエネルギーホールディングス株式会社	ジャパンベストレスキューシステム株式会社	株式会社JERA	株式会社システムソフト
双日株式会社	大正製薬ホールディングス	株式会社ツムラ	東海カーボン株式会社	トレンドマイクロ株式会社	日東電工株式会社
株式会社ニフコ	パンチ工業株式会社	PHCホールディングス株式会社	日立金属株式会社	株式会社日立製作所	株式会社日立物流
株式会社フコク	株式会社ベネフィット・ワン	三菱重工業株式会社	三菱地所株式会社	株式会社吉野家ホールディングス	株式会社リサ・パートナーズ

## 資金管理ソリューション (TMS)

麒麟ホールディングス株式会社	KDDI株式会社	株式会社神戸製鋼所	THK株式会社	東映アニメーション株式会社
株式会社ニフコ	三井化学株式会社	株式会社UACJ		

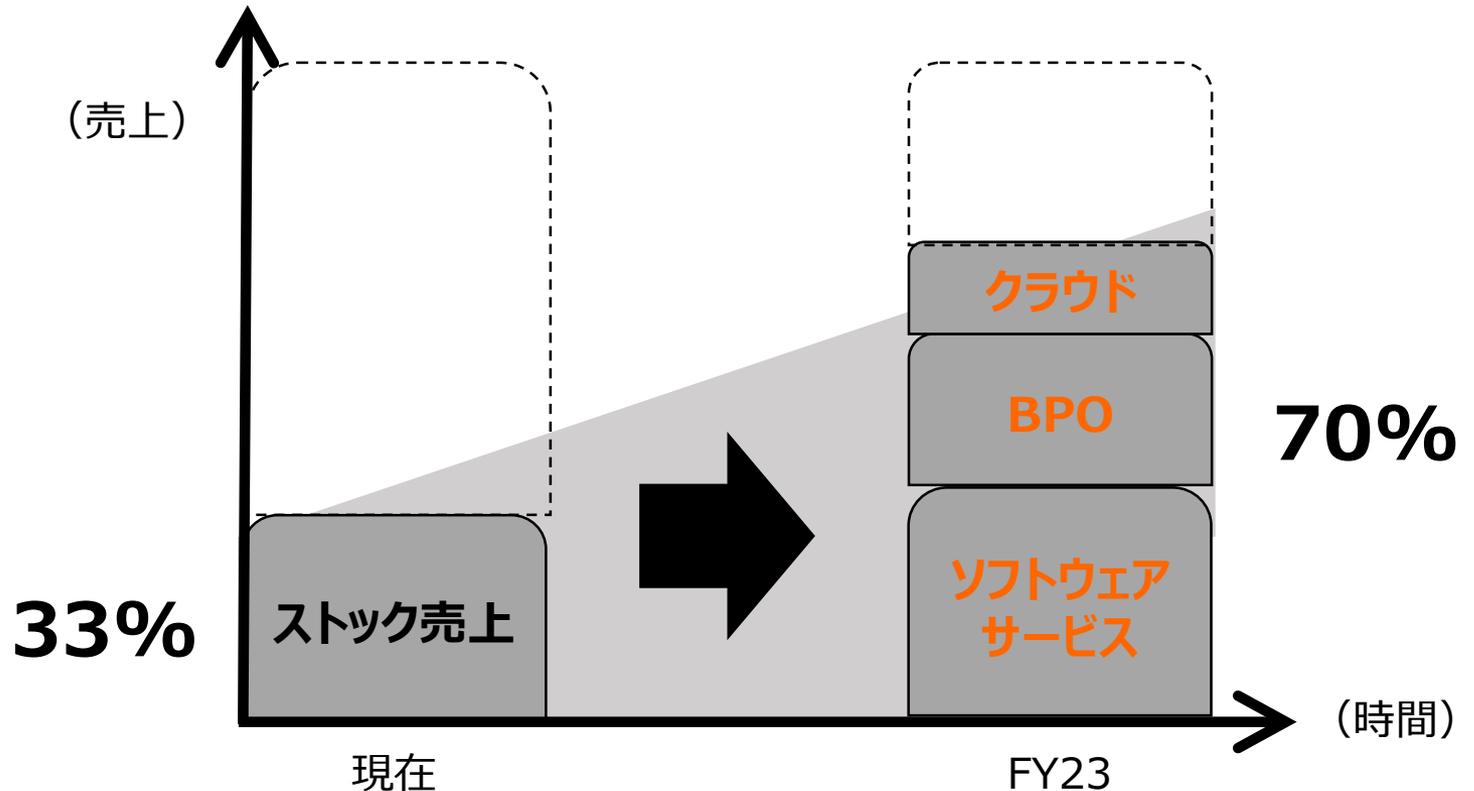
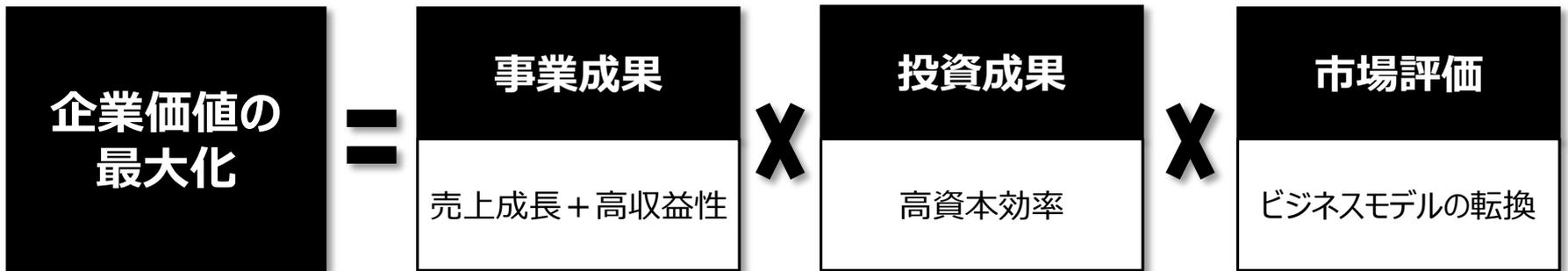
**中期経営計画  
(FY19~23)**

**BE GLOBAL 2023**

---

# 中期経営計画で目指すビジネスモデルの転換

AVANT



## Global GGM SaaS Companyに向けた主要なアクション

**FY20**

**FY21**

**FY22**

**FY23**

**DIVA**  
DS Cloud Shift

On premise to SaaSへ、Cloud Shiftを成功させる

**ZEAL**  
Micro SaaS

- ①SI to SaaSへ、Vertical SaaS化を進める
- ②BI SaaS Platformのライアンアップを拡大する

**FIERTE**  
BPO Automation

- ①Software base BPO to SaaSへ、Automationを進める
- ②BPO SaaS Platformのラインアップを拡大する

**SaaS**  
Contents Expansion

GGMのコアコンテンツを拡張する（TMS等）

**Global**  
Sales Expansion

Cloud Shift戦略が有効な顧客ベースを獲得する

内部投資

外部投資

## AVANT Groupの中期目標

	FY18		FY23
売上高	120億円	➡	180~220億円
ストック売上比率	33%	➡	70%
営業利益	16億円	➡	31~38億円
売上成長率 + 営業利益率	28.5pt	➡	40pt以上
ROE	24.5%	➡	20%以上
配当	6円	➡	15円以上

# FY20振り返り

- 5期連続の増収・増益を達成し、過去最高益を記録
- スtock売上比率はほぼ横這い。利益率は改善したが売上成長率が鈍化したためGPPは低下
- ROEは20%超を維持

	FY19 実績		FY20 実績		FY23 目標
売上高	140.7億円	→	 156.9億円	⇒	180~220億円
Stock売上比率	31.4%	→	 32.6%	⇒	70%
営業利益	19.6億円	→	 22.7億円	⇒	31~38億円
売上成長率+営業利益率	30.2pts	→	 26.0pts	⇒	40pt以上
ROE	24.5%	→	 23.5%	⇒	20%以上
配当	7.5円	→	 9円	⇒	15円以上

# 21年6月期の目標

AVANT

- クラウドシフトを明確にし、トップライン成長を重視
- ストック化比率の向上に向けた独自IPベースの製品・ソリューション投入
- 各社で成長加速に向けM&Aを含めた可能性を検討

	FY20 実績		FY21 予想		FY23 目標
売上高	156.9億円	→	161.1億円	⇒	180~220億円
ストック売上比率	32.7%	→	UP	⇒	70%
営業利益	22.7億円	→	23.3億円	⇒	31~38億円
売上成長率+営業利益率	26.0pts	→	17.2pts	⇒	40pt以上
配当	9円	→	10円	⇒	15円以上

## 連結会計事業

ストック  
売上比率

FY20実績

39%

FY23目標

50%

FY21

取り組み

### クラウドシフトでトップライン加速

- ✓ クラウド化に向けた新製品・サービスの投下
- ✓ 制度会計から予実・管理会計など経営の高度化に資するソリューション充実
- ✓ 業績好調な業種・グローバルプレーヤーをターゲット
- ✓ 収益性向上策（生産性向上／柔軟な採用／オフィススペース）

ビジネス・  
インテリジェンス  
事業

ストック  
売上比率

FY20実績

9%

FY23目標

40%

FY21

取り組み

**独自ソリューションでビジネスモデル転換を本格化**

- ✓ ZEUSCLOUDに続く独自ソリューション投入、
- ✓ ソフトウェアベンダーとの連携強化、
- ✓ 大手企業のDX関連案件を支援、
- ✓ 転換を支えるビジネスユニット制への組織変更

## アウトソーシング 事業

ストック  
売上比率

FY20実績

89%

FY23目標

95%

FY21

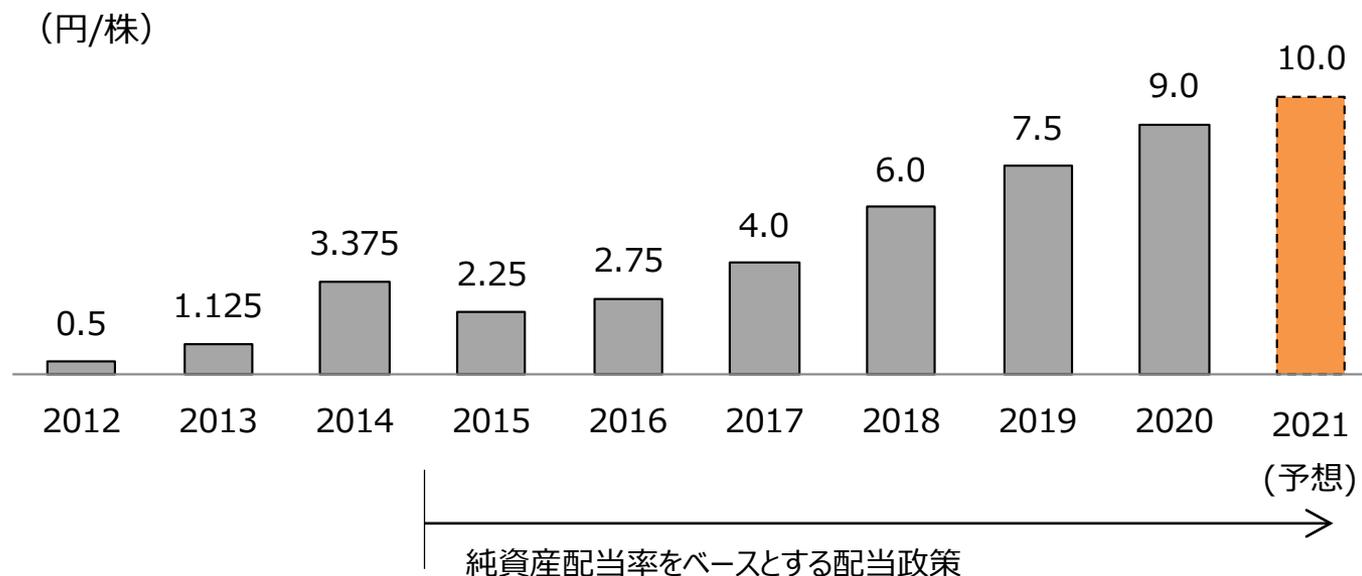
取り組み

### 成長モメンタムを維持するための施策

- ✓ 決算アウトソーシング・資金管理ソリューションのパイプライン・ハード化
- ✓ さらなるサービス多様化
- ✓ 効率化投資・人材開発を加速

# 株主還元策について

- 原則 1 株当り配当の金額が前年度を下回らない程度に安定配当
- 配当額の妥当性を図る尺度のひとつとして、純資産配当率（DoE）に着目し、その値を徐々に引き上げると共に、東証全上場企業の平均値を常時上回ることを目指す



	2012年6月期 実績	2013年6月期 実績	2014年6月期 実績	2015年6月期 実績	2016年6月期 実績	2017年6月期 実績	2018年6月期 実績	2019年6月期 実績	2020年6月期 実績
1株当り配当金(円)	0.5	1.125	3.375	2.25	2.75	4.0	6.0	7.5	9.0
純資産配当率 当社	1.30%	2.47%	5.84%	3.25%	3.41%	4.18%	5.20%	5.27%	5.17%
(参考)東証上場企業平均	2.24%	2.28%	2.39%	2.43%	2.64%	2.70%	2.86%	2.93%	2.94%

出所: 日本証券取引所グループ統計月報

# 業績推移

---

## ～ 5期連続の増収・増益で当期純利益は過去最高を更新 ～

- 新型コロナウイルス感染症拡大の影響は、期末にかけての受注に一部見られるものの、売上高は連結会計関連事業で大型案件の追加受注もあり想定を上回る水準
- 連結会計関連事業で固定的費用の抑制を図ったことや前期計上の受注損失引当金の反動等により営業利益率は改善。期末に税効果も実現し当期純利益も前期比16.8%増

(単位：百万円)

	2019年6月期	2020年6月期	前期比	
			増減額	増減率
売上高	14,077	15,691	+ 1,613	+ 11.5%
売上原価	7,779	8,525	+ 746	+ 9.6%
販管費	4,332	4,887	+ 555	+ 12.8%
営業利益	1,966	2,278	+ 312	+ 15.9%
営業利益率	14.0%	14.5%	-	+ 0.6 point
経常利益	1,972	2,282	+ 309	+ 15.7%
当期純利益	1,317	1,537	+ 220	+ 16.8%
EBITDA	2,133	2,506	+ 373	+ 17.5%

# セグメント別業績

AVANT

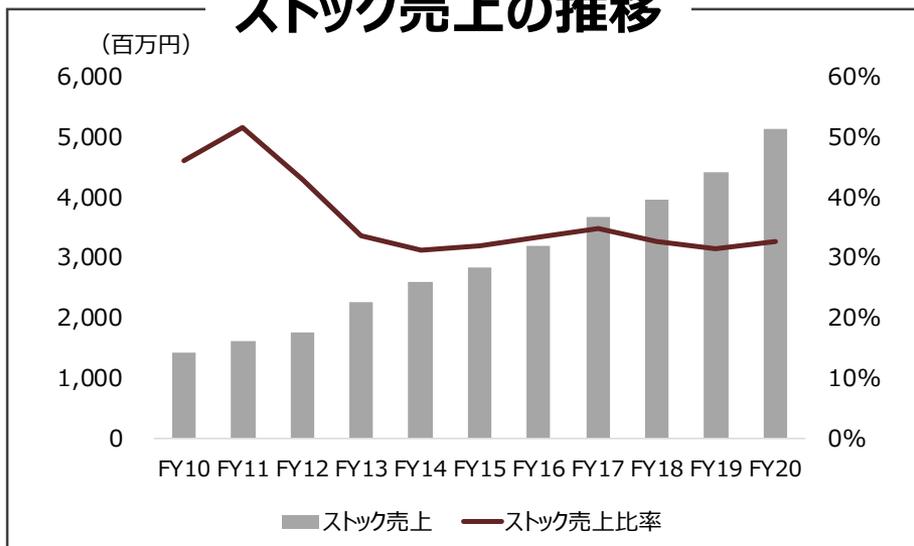
- 売上高はビジネスインテリジェンス、アウトソーシング事業が牽引。ストック売上比率の高いアウトソーシング事業は連結売上高の13%まで拡大
- 営業利益は連結会計関連事業が牽引。下半期の固定費削減取組が奏功

(単位：百万円)

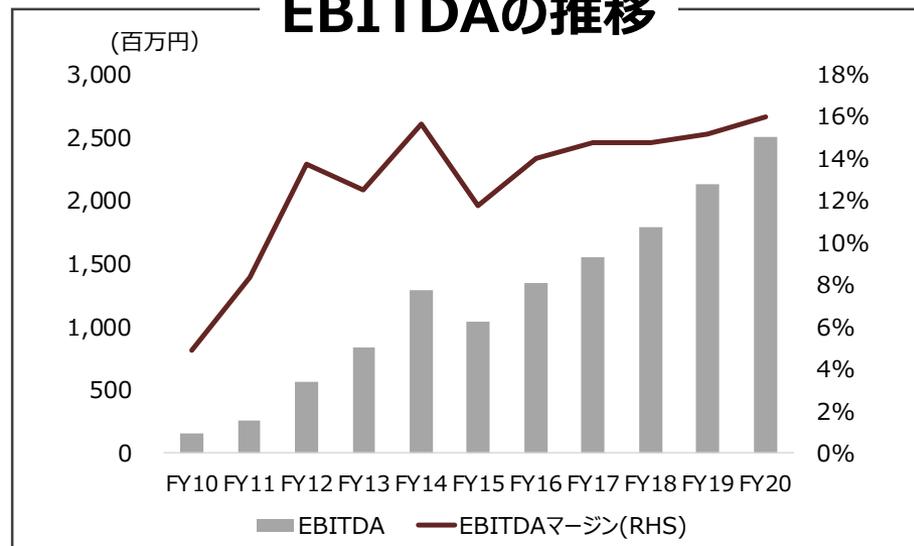
		2019年6月期	2020年6月期	前期比	
				増減額	増減率
連結会計関連	売上高	8,034	8,485	+ 451	+ 5.6%
	営業利益	1,293	1,616	+ 323	+ 25.0%
	営業利益率	16.1%	19.1%	-	+ 3.0 point
ビジネス・インテリジェンス	売上高	4,990	5,767	+ 776	+ 15.6%
	営業利益	636	692	+ 55	+ 8.8%
	営業利益率	12.8%	12.0%	-	△ 0.8 point
アウトソーシング	売上高	1,629	2,062	+ 432	+ 26.5%
	営業利益	318	364	+ 45	+ 14.4%
	営業利益率	19.5%	17.7%	-	△ 1.9 point

# 主要KPIの推移

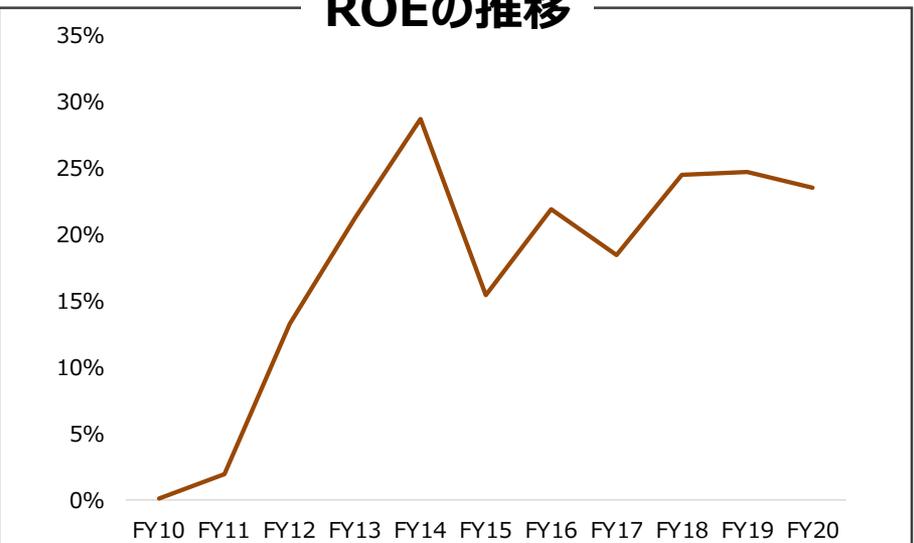
## ストック売上の推移



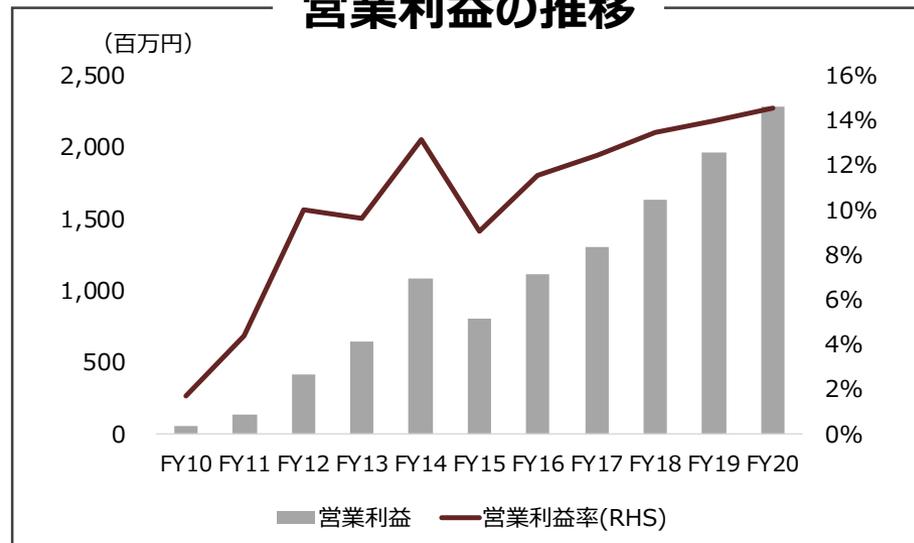
## EBITDAの推移



## ROEの推移



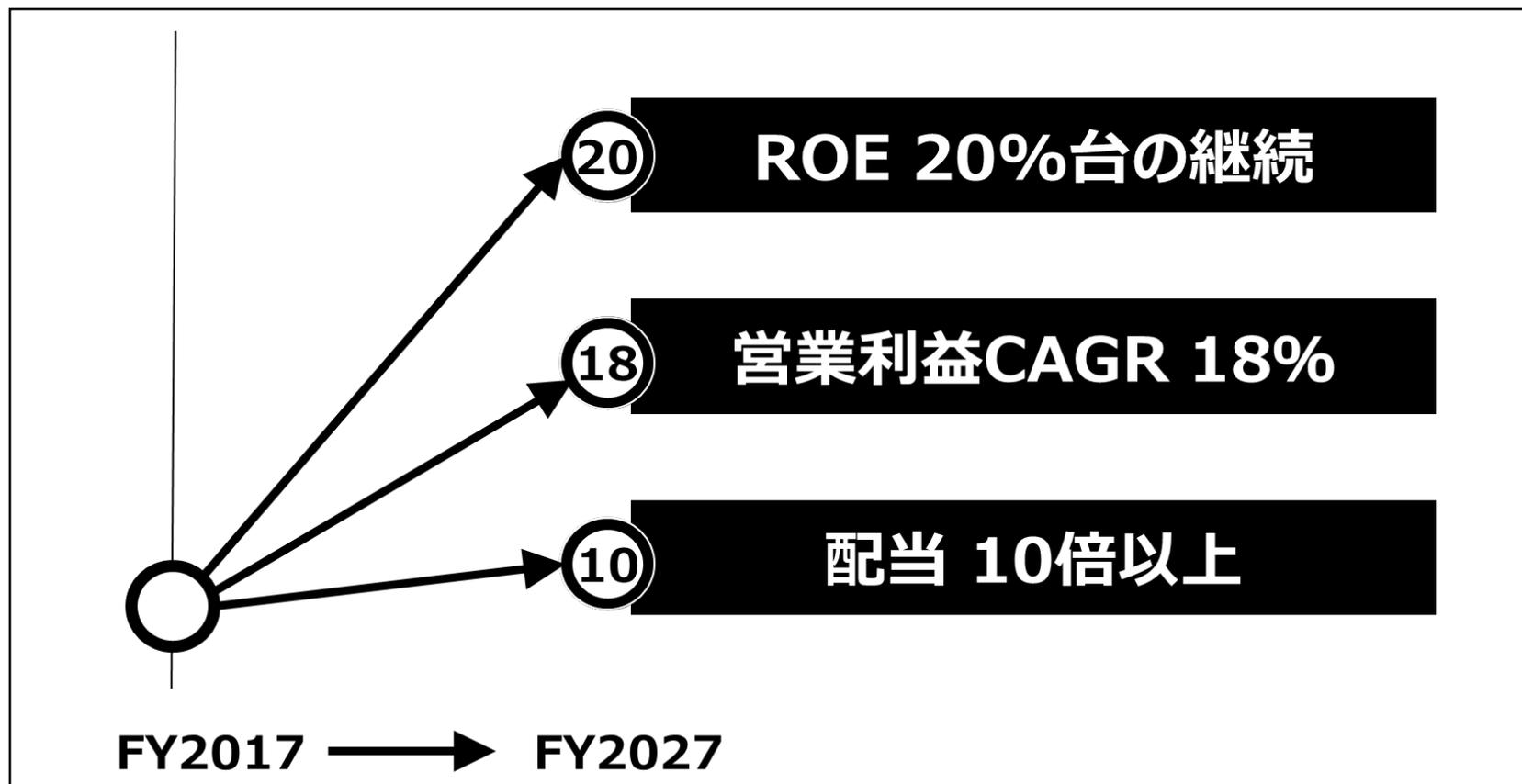
## 営業利益の推移



(百万円、円)

	FY11 (11/6)	FY12 (12/6)	FY13 (13/6)	FY14 (14/6)	FY15 (15/6)	FY16 (16/6)	FY17 (17/6)	FY18 (18/6)	FY19 (19/6)	FY20 (20/6)
売上高	3,137	4,101	6,732	8,300	8,928	9,612	10,532	12,110	14,077	15,691
売上原価	1,622	2,164	4,061	4,580	5,133	5,452	5,834	6,946	7,779	8,525
売上総利益	1,514	1,936	2,670	3,720	3,795	4,159	4,697	5,163	6,298	7,166
販管費	1,376	1,526	2,022	2,631	2,990	3,050	3,391	3,532	4,332	4,887
営業利益	138	410	647	1,088	805	1,109	1,306	1,631	1,966	2,278
EBITDA	153	535	822	1,285	1,033	1,172	1,279	1,807	2,170	2,510
当期利益	25	191	362	623	402	660	663	1,062	1,317	1,537
EPS (円)	0.68	5.09	9.66	16.60	10.71	17.60	17.67	28.28	35.06	40.92
DPS (円)	0.31	0.50	1.13	3.38	2.25	2.75	4.00	6.00	7.50	9.00
有形固定資産	173	115	170	254	199	210	207	222	277	469
無形固定資産	128	67	522	405	301	201	100	172	165	191
投資その他の資産	253	252	288	377	398	559	747	921	1,574	1,614
前受収益	0	56	185	173	109	284	272	300	356	342
1年期限の長期借入金	5	--	129	122	122	122	28	--	--	--
長期借入金	--	--	396	273	151	28	--	--	--	--
純資産	1,355	1,535	1,879	2,460	2,739	3,311	3,873	4,792	5,898	7,194
総資産	2,836	3,502	4,785	5,537	5,681	6,709	7,325	8,814	10,415	11,780

## AVANT Groupの長期経営目標



## TSR

	1年	3年	5年
アバント	104.2%	297.5%	587.6%
TOPIX	103.1%	103.8%	107.1%
TOPIX情報通信	115.7%	126.2%	152.9%

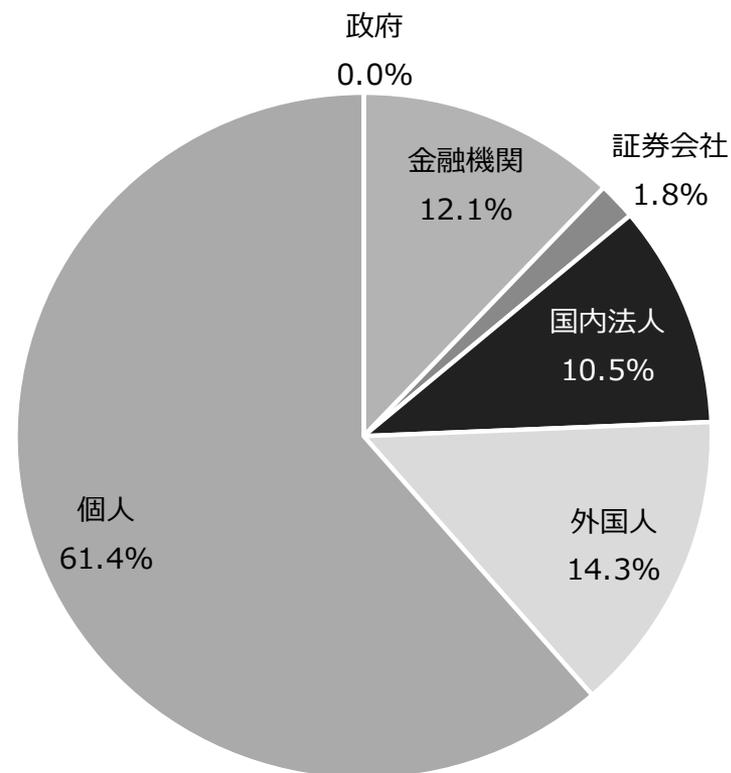


出所 : Thomson Reuters

## 大株主（上位10名）

株主名	持株数 (株)	持株比 率 (%)
森川 徹治	9,764,000	25.98
アバント従業員持株会	3,195,300	8.50
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,248,500	5.98
野城 剛	1,868,800	4.97
株式会社オービックビジネスコンサルタント	1,600,000	4.26
ピー・シー・エー株式会社	1,556,800	4.14
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT(常任代理人 香港上海銀行東京支店)	1,426,200	3.79
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	983,500	2.62
FCP SEXTANT AUTOUR DU MONDE(常任代理人 香港上海銀行東京支店)	811,600	2.16
BBH/DESTINATIONS INTERNATIONAL EQUITY DUND/WASATCH ADVISORS(常任代理人 株式会社三井住友銀行)	653,640	1.74

## 所有者別株主構成



AVANT